

## 講座内容・講師プロフィール

### 講座1



## 「ビジネスと人権—企業活動と人権のつながりを考える—」

菅原 絵美さん

大阪経済法科大学国際学部教授

国際社会では、2011年に国連「ビジネスと人権に関する指導原則」が策定され、企業の人権尊重責任に対する期待が明確化されました。各国での取り組みが進む中、日本でも昨年「『ビジネスと人権』に関する行動計画」が策定され、政府による政策も徐々に進められてきています。

企業の人権尊重責任は、自社の経営課題である人権尊重へのコミットメントを示すとともに、事業決定や実施のプロセスなどで人権尊重を実現していくことが求められます。本講座では企業の事業・業務と人権のつながりをワークシートを活用しながら考えていきます。

#### プロフィール

専門は国際法、国際人権法。2003年新潟大学を卒業後、神戸大学大学院、国連人権高等弁務官事務所や国連グローバル・コンパクト事務所インターンなどを経て、2014年大阪大学大学院国際公共政策専攻博士後期課程修了(博士(国際公共政策))。大阪経済法科大学助教、准教授を経て2021年度から現職に。国際人権法の観点から「ビジネスと人権」、企業の社会的責任(CSR)について研究を進めている。著書に「人権CSR ガイドライン:企業経営に人権を組み込むとは」(菅原絵美著、部落解放・人権研究所企業部会編、解放出版社2013年)がある。

### 講座2



## 人権尊重の企業づくり

### ①「多様な家族のカタチを支援する企業での取り組み」

石川 于津子さん

(株)ウエディング石川常務取締役

①2000組以上の家族の始まりの日のお手伝いをしてきたウエディング企業としての取り組み。その中で感じる幸せのカタチ。それは多様な中で誰もが叶えてよいことです。企業の立場からも多様性の理解が必要であるという思いから、スタッフ全員にLGBT対応マナー研修を実施するなど、人権尊重の視点立った具体的な企業での取り組みについて学びます。

#### プロフィール

ウエディング石川の前身は、1887年に長崎県内で最初の旅館業の営業免許を受けた石川屋旅館。1960年代頃から結婚式場を始め、1990年に(株)ウエディング石川に社名を変更、雲仙普賢岳噴火がおさまった1995年頃から申込みが増え、ピーク時には年間220~230組の結婚式に対応。現在は同社の常務取締役として活躍している。2019年秋頃から、県内の民間企業に先駆けて社員にLGBTに関する研修を実施し、性的少数者への対応など多様性の理解を深める取り組みを行っている。

### ②「当事者の視点から見た企業への期待」



儀間 由里香さん

Take it! 虹 代表

②性的少数者の当事者団体の活動として、性の多様性に関する講演や交流会の開催を通して、みんなが安心して暮らせる社会や働きやすい職場環境づくりをめざして様々な取り組みを重ねています。当事者の視点から、多様性の尊重にむけた企業の取り組みがさらに広がることを願って、企業への期待をお話します。

#### プロフィール

性の多様性に関する講演や交流会の開催を通して、みんなが安心して暮らせる明日への取り組みを実施。また、性の多様性に限らず、多様なマイノリティと連携し、「ながさき愛の映画祭」の開催を通して、全ての人が持つ“ちがいを”活かしよう社会の実現を目指し活動している。長崎県からの委託を受け【長崎県内の性的少数者に関するWEBアンケート】の実施、集計・分析、調査結果のまとめなどを行うとともに、LGBTへの理解を深める「多様性への理解と対応ハンドブック」の作成協力などを行っている。

### 講座3



## 「多様な働き方と人材の中で進める障がい者雇用のあり方」

黒木 均さん

Peach Aviation 株式会社  
エンployーリレーション部  
ほなやる課課長

新型コロナウイルスの感染拡大は、単に医療の分野のみでなく、「働くこと」「生きること」「関わること」など、たくさんのシーンに急激な変化をもたらしました。企業内での障がいのある人材の採用、業務支援、社内啓発などこれまでの取り組みの実践経験を踏まえ、多様な生き方がある時代に、多様な人材の働きやすさの中でも、今回は障がいや特性のある人材を起点に考えます。

#### プロフィール

元特別支援学校教員、特別支援教育コーディネーターを経て、2018年にPeachへ入社。障がい者雇用の促進や入社後の社内での体制の構築を担当する。現在では、自社他社を問わず、管理職研修や障がい者スタッフの専門性向上研修において、ダイバーシティ関連の講義や啓発を行っている。